

【試合結果】

男子		準決勝																
日時	平成29年8月6日（日）	10:20 ~																
会場	北海道立北見体育センター																	
結果	札幌清田 札幌	<table border="0"> <tr><td>13</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	13	—	13	20	—	9	20	—	11	18	—	11		OT		函館本通 渡島
	13	—	13															
20	—	9																
20	—	11																
18	—	11																
	OT																	
審判	主審	副審																

第47回北海道中学校バスケットボール大会



【ボックススコア】

札幌清田		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	藤岡 大翔	×	5	1	1	0	0	4
5	奥村 飛龍	×	21	2	5	5	13	2
6	瀧山 歩	×	14	0	7	0	4	3
7	前田 峻	×	9	3	0	0	1	1
8	篠原 隆世	/	0	0	0	0	0	0
9	岩根 光哉	/	0	0	0	0	0	1
10	高橋 泰志	×	16	0	7	2	6	0
11	畠中 翔麻	/	0	0	0	0	0	0
12	網島 豪	/	2	0	1	0	0	0
13	大長 宜興	/	4	0	2	0	0	2
14	吉持 優哉		0	0	0	0	0	0
15	川村 亘		0	0	0	0	0	0
16	亦野 翔太		0	0	0	0	0	0
17	佐藤 奨真		0	0	0	0	0	1
18	菅原 静仁		0	0	0	0	0	0
HC	高橋 和也							
合計			71	6	23	7	24	14

函館本通		渡島						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	山 温生	×	10	2	1	2	1	4
5	小島 康太	/	2	0	1	0	0	0
6	滝花 晋吾	×	23	1	10	0	2	1
7	佐藤 楓稀	×	2	0	0	2	2	3
8	伊香 孝則	×	0	0	0	0	2	1
9	三浦 夢叶	×	3	0	1	1	3	3
10	蛭子 魁斗							
11	村松 岳留							
12	齊藤 凜							
13	風林 龍也							
14	日下部 龍二							
15	尾崎 蒼空							
16	山口 拓馬	/	4	0	2	0	3	0
17	蛭子 玖龍							
18	森 紅葉							
HC	滝花 晋							
合計			44	3	15	5	13	12

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【選 評】

全国大会出場をかけた一戦。4年ぶりの全国出場を目指す清田、初の全国出場を目指す本通。  
 清田④、⑤、⑥、⑦、⑩。本通④、⑥、⑦、⑧、⑨でスタート。  
 ゲームの開始は本通④、清田⑦、共にスリーポイントで得点。その後、本通は⑥の1対1を起点にゲームを組み立てるのに対し、清田はパスの展開を早くし、どこからでも点を取りに行く。どちらもゲームの主導権を渡さぬまま、13-13の同点で1Qが終了。  
 2Qは、お互いのシュートがなかなか決まらず、一進一退のゲームが続く。清田は⑤の力強いドライブや⑩のリバウンドなどで少しずつ点差を離していく。3分過ぎ、19-14の清田リードとなったところで、本通タイムアウト。そこから清田のディフェンスはダブルチームを仕掛けるなど変化をつけ、本通のオフェンスをおさえこむ。33-22と清田がリードをして前半終了。  
 3Q、リバウンドを支配した清田はブレイク、アーリーオフェンスで得点を重ねていく。本通はシュートにいくも中々決まらず、5分過ぎにこのクォーター初得点。そこから、本通④の連続得点で追いつけていくが、さらに清田がリードをし、53-33で3Q終了。  
 4Q、ゲームのリズムをつかんだ清田は、1対1を積極的に仕掛け、得点を重ねる。一方、本通も粘り強さを発揮し追いつけるも、71-44で清田が勝利。敗れはしたものの、オフェンス・ディフェンス共に1対1の強さを発揮して最後まで戦った本通のバスケットも立派であった。